

「仁王般若経」の庭



全景



中央部線刻：左側線刻の三重塔は大日如来の象徴し、右側は先祖を供養するために「般若経」を千回読経した旨記され、寛文12年（1672年）書されている。



放射光を負った釈迦陀如来像は北に位置する

「三界万靈位六親眷属七世之父母有縁無縁貴賤靈芳六苦」



阿閼(しゅく)如来は薬壺を持った薬師如来として描かれている。東に位置する